

2024年8月8日

株式会社 電通グループ

代表執行役 社長 グローバル CEO 五十嵐 博

(東証プライム市場 証券コード：4324)

電通グループ、国際的な ESG 評価「Sustainalytics ESG Risk Ratings (Low risk)」と「MSCI ESG Ratings (A)」の双方で格上げ

— ガバナンスの体制改善に向けた活動および情報公開が高い評価 —

電通グループ（ブランド：「dentsu」、本社：株式会社電通グループ、拠点：東京都港区、代表者：代表執行役 社長 グローバル CEO 五十嵐 博、以下「dentsu」）は、国際的な ESG 評価機関である Sustainalytics 社による ESG Risk Ratings^{※1} での評価が大幅に改善し、「スコア 15.9 (Low Risk)」を獲得しました。Low Risk 評価は 2019 年以来の獲得になります。また、同じく国際的な ESG 評価である MSCI ESG Ratings^{※2} においても評価が改善し、これまでの「BBB」から「A」に格上げとなりました。

MSCI
ESG RATINGS



CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA
-----	---	----	-----	---	----	-----

今回の評価向上は、電通グループのビジョン実現のために注力してきた情報開示の拡充と施策の充実、特にガバナンスの体制改善が評価された結果です。2023年12月には、ESG 投資指標「DJSI world」の構成銘柄に初めて選定^{※3}されるなど、直近での積極的な活動が複数の機関の評価に反映され始めています。

電通グループでは、今年「2030 サステナビリティ戦略」をアップデートし、「困難な社会課題を解決する未来のアイデアを生み出していく」ことにより、当社グループと社会のサステナビリティの実現を目指しています。特にサステナビリティに関する活動および情報公開に積極的に取り組んでいます。

当社グループは引き続き、B2B2S (Business to Business to Society)企業として、顧客企業を含むあらゆるステークホルダーとともに、広告コミュニケーション分野に留まらず多様な施策やビジネスを通して、グローバル規模で顧客企業のさらなる成長と社会課題の解決に貢献しつつ、持続的な企業価値の向上を目指します。

※1：Sustainalytics ESG Risk Ratings は、モーニングスターグループ（アメリカ）傘下の独立系 ESG（環境、社会、ガバナンス）格付け調査機関 Sustainalytics 社による ESG のリスク評価です。業界固有の重要な ESG リスクのうち、企業がそれらのリスクをどのように管理しているかを測定し、企業のリスク度合いについての格付けをおこなっています。詳細についてはこちらをご参照下さい。

<https://www.sustainalytics.com/esg-ratings>

※2：MSCI ESG Ratings の詳細についてはこちらをご参照下さい。

<https://www.msci.com/sustainable-investing/esg-ratings>

なお、電通グループが MSCI ESG リサーチまたはその関連会社のデータ、ロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名を使用することは、MSCI による当社グループの後援、承認、推薦または宣伝を意味するものではありません。MSCI のサービスおよびデータは、MSCI またはその情報提供者の所有物であり、「現状のまま」提供され、保証はありません。MSCI の名称およびロゴは、MSCI の商標またはサービスマークです。

※3：ESG 投資指標「DJSI world」の構成銘柄への選定については、こちらのリリースをご参照下さい。

<https://www.group.dentsu.com/jp/news/release/001092.html>

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、沢田

Email：group-cc@dentsu-group.com

※リリース等のメール配信サービスのご利用は、こちらから登録お願いします。

<https://www.group.dentsu.com/jp/news/registration.html>